

施策評価調書(28年度実績)

施策コード Ⅱ-2-(1)

政策体系	施策名	多様で厚みのある産業集積の推進	所管部局名	商工労働部	長期総合計画頁	95
	政策名	多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保	関係部局名	商工労働部、土木建築部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	大企業や研究機関等の活用による新たなイノベーションの創出	地場企業の活躍の場を広げる産業集積の推進	農商工連携等による食品産業の育成	東九州メディカルバレー構想の推進による医療機器産業拠点づくり
取組No.	⑤			
取組項目	地域の強みを生かした再生可能エネルギーの導入促進とエネルギー産業の育成			

【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)									
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125					
i	中小製造業の製造品出荷額(億円)	①②	H25	11,731	11,966 (H26)	12,316 (H26)	102.9%	12,952 (H30)	14,300 (H35)										
ii	食料品出荷額(億円)	③	H25	2,719	2,746 (H26)	2,767 (H26)	100.8%	2,857 (H30)	3,003 (H35)										
iii	医療機器製造業登録数(累計)(製造所)	④	H26	20	22	21	95.5%	25	30										

【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等	平均評価
i	達成	業種別(大企業含む)ではシェアの大きい石油化学や非鉄金属、電子部品関連、食品製造業などが比較的堅調であったこと、規模別では従業員100~299人の中企業の出荷額が伸びたことにより、目標値を達成した。 なお、実績値に使用している国の工業統計調査が未確定のため、目標値、実績値ともに直近のH26年度の実績を記載している。	達成
ii	達成	食品産業企業会への支援により、品質管理への取り組みの向上や流通大手との新規取引開始など、中堅企業で出荷額が増えたため目標値を達成した。 なお、実績値に使用している国の工業統計調査が未確定のため、目標値、実績値ともに直近のH26年度の実績を記載している。	
iii	概ね達成	東九州メディカルバレー構想に基づき、医療機器産業への新規参入を促進するため、医療現場のニーズ発表会を実施し、医療関連機器の製品開発等に取り組む地場企業は増えたものの、医療機器製造事業所の追加登録までには至らなかった。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・味分析により、他商品との数値による比較が可能になり、モニタリング結果や専門家の意見に基づく商品の改良や販売方法の提案により、12件の商品の販売力向上につながった。
②	・自動車関連産業では、自動車メーカー等と設備や部品等で継続取引のある企業が増加するとともに、新分野への参入意欲も向上している。 ・半導体関連産業では、産学官一体となった研究開発、人材育成、販路開拓等の取組を行い、競争力の強化を図った。
③	・食品産業の商品開発や人材育成の目的で「食品オープンラボ」を運営し、製造技術の向上が図られた。また、HACCP講習により品質管理の高度化につながった。さらに、食品加工リーダー研修会を開催することで、人材育成や企業間の連携を図った。
④	・大分県医療ロボット・機器産業協議会では、医療機器のほか介護・福祉機器も含む裾野の広い医療関連機器産業への参入支援を行い、会員数は125社・19支援機関と着実に増加している。
⑤	・大分県エネルギー産業企業会を通し、県内企業の取り組みに対する支援を行った。 分野別ワーキンググループ活動支援 9件 新エネ・省エネコーディネーター活動 239件 トライアル研究開発 1件、展示会出展 7件

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①③	おおいた味力アップ商品創出支援事業	18,705	A	終了	102
	自動車関連産業企業力向上事業	34,347	B	継続・見直し	103
②	おおいたLSIクラスター構想推進事業	30,809	B	継続・見直し	104
	建設産業構造改善・人材育成支援事業	16,598	A	継続・見直し	197
③	食品産業成長促進事業	30,315	B	終了	105
④	医療機器産業参入加速化事業	42,270	A	継続・見直し	106
	東九州メディカルバレー構想拠点機能強化事業	16,395	A	継続・見直し	107
	九州連携医療機器産業拠点形成事業	10,833	A	終了	108
⑤	エネルギー関連産業成長促進事業	63,602	A	継続・見直し	109

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第3回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.7)
 ・自動車産業は裾野が広く、県内でも多くの雇用を創出している状況だが、自動車技術は大きく変化しつつある。今後、安全な無人自動走行車をつくるにはセンサー、AI、ICT等の技術が合わさる必要がある。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連産業については、県内調達が進んでいない機能部品や電子・電装系部品等について、具体的なターゲットを定めた県内企業の売り込みや技術提案を支援することで受注拡大を図る。 ・半導体関連産業については、これまでに培った技術、人材などを活用しての新分野・成長分野チャレンジ支援等に取り組むとともに、大分県LSIクラスター形成推進会議を推進母体として、国内外とのネットワーク構築を促進する。 ・食品産業の競争力強化や国際化対応のための、商品開発支援、品質管理技術の向上を支援する。 ・看護分野をはじめとする医療現場の抱える機器開発ニーズを基に、地場企業による医療関連機器の研究開発を着実に進めるため、ワーキンググループ活動や試作品開発に対する支援を拡充し、切れ目のない参入支援を行う。 ・本県の強みを活かしたエコエネルギーの導入推進に加えて、そのエコエネルギーを活用した産業振興や地域振興に資する取り組みを推進することにより、「豊かなエネルギー先進県おおいた」の実現を図る。